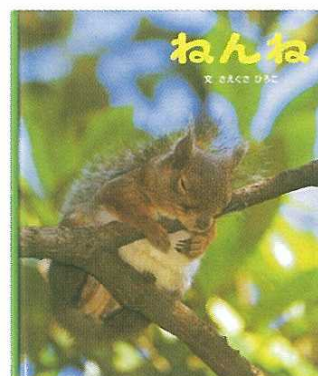




●『ねんね』

さえぐさ ひろこ／文 細川 佳／デザイン
アリス館

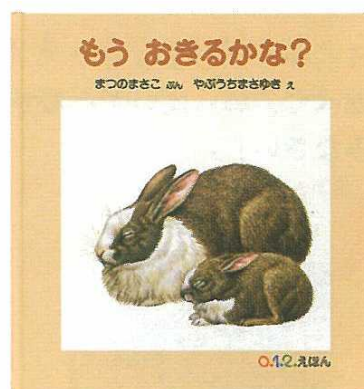
キツネ、ライオン、ゴリラ、シロクマ、
コアラなど、いろいろなどうぶつたちが、
きもちよさそうにねむっています。



●『もう おきるかな』

まつの まさこ／ぶん やぶうち まさゆき／え
福音館書店

どうぶつのこどもたちが、つぎつぎに
めをさまし、おきあがります。



●『ねこ』

〈はじめての しかけずかん〉

La ZOO／構成・デザイン 今泉 忠明他／監修
高橋 和枝／絵 森田 米雄他／写真
学習研究社

ねこくんが ふくろのなかから
ぬけだして さんぽにでかけます。
とびついたり きのぼりしたり。



3 おとなといっしょの時間が 楽しい

子どもにとって、絵本をなかだちにして自分だけの相手をしてもらえるのもうれしいことです。おとなの声かけに、「オッ」とか「ウッ」などと、からだで反応してくるでしょう。おとなはことばを使い、子どもは声や表情・からだを使って心を通わせる、これが絵本の魅力のひとつです。

どんな絵本を選ぶか?

1 内容と題材



子どもの身近なモノや、食べる・寝る・顔をあらう・あそぶ・着替えるなどの動作、おでかけ・おきやくさま・びょうきなどの身近なできごとがとりあげられていると、よくわかるので喜びます。